

第69回西日本学生体操選手権大会

要 項

西日本学生体操連盟

<第1部>

1. 期日 新体操の部 2019年5月28日(火)～30日(木)
体操競技の部 2019年5月31日(金)～6月2日(日)
2. 会場 スカイホール豊田
所在地 〒471-0861
愛知県豊田市八幡町1丁目20
TEL0565-31-0451
3. 主催 主催：西日本学生体操連盟
主管：東海北信越学生体操連盟 関西学生体操連盟 九州学生体操連盟
後援：全日本学生体操連盟

4. 参加資格

- (1) 該当年度、全日本学生体操連盟規定に基づく加盟を成した、東海北信越支部、関西支部、九州支部に所属する大学(専修学校、高等専門学校を含む、以下省略)の者。
- (2) 全日本学生体操連盟への登録が4回以下の者で、各大学所在地の都道府県体操協会の定める登録規定により登録を済ませた者。
- (3) 登録・加盟については財団法人日本体操協会及び全日本学生体操連盟に4月30日までに登録・加盟を成せば認める。但し、新入生は大会前日までとする。
- (4) 平成31年度の東海北信越・関西・九州学生体操選手権大会(以下、本年度支部インカレと記す)に出場した大学及び選手。但し、詳細は下記の通りとする。

① 体操競技の部

<男子>

・本年度支部インカレへチーム出場した一部校は、チーム出場枠を1つと個人出場枠4つを与える。但し、チームのメンバー、補欠及び個人の選手は本年度支部インカレの出場の有無に関わらず任意に変更可とする。

・本年度支部インカレへチーム出場し、同大会後に開かれた通過者会議において本大会へチーム出場を認められた二部校は、チーム出場枠を1つと個人出場枠2つを与える。但し、チームのメンバー、補欠及び個人の選手は本年度支部インカレの出場の有無に関わらず任意に変更可とする。

・本年度支部インカレへ出場し、同大会後に開かれた通過者会議において本大会へ個人出場を認められた選手は、本大会への個人出場を認める。但し、同選手を他の選手への選手変更することは認められない。

<女子>

・本年度支部インカレにチームで出場した大学は、チーム及び該当する個人枠数の個人選手の出場を認める。但し、チームのメンバー、補欠及び個人の選手は本年度支部インカレの出場の有無に関わらず任意に変更可とする。

(ここでいう本年度支部インカレのチームとは5～6人で構成されていることを条件とする。本年度支部インカレに3～4人でチームを構成し出場している大学は、本大会の個人出場を認める。)

- ・本年度支部インカレに個人のみで出場している大学及び本年度支部インカレに3～4人でチームを構成し出場している大学は、出場した選手のみ本大会個人出場を認める。但し、本年度支部インカレに出場していない選手への変更は認めない。

② 新体操の部

- ・本年度支部インカレにチームで出場した大学はチーム出場を認める。
但し、チームのメンバー及び補欠は本年度支部インカレの出場の有無に関わらず任意に変更可とする。
- ・本年度支部インカレに個人で出場した者は、個人出場を認める。但し、本年度支部インカレに出場していない選手への変更は認めない。

③ 共通項

下記に該当する大学及び選手は、本大会への出場を認めるものとする。但し、大学名、選手名、理由等を書面に記入し、責任者の押印の上、所属している学生体操連盟に提出し、会長と委員長の承認を得ること。

- ・全日本学生体操連盟の登録が初回の者で、本年度支部インカレに出場できなかった者。
- ・怪我及びやむを得ない事情により本年度支部インカレに出場できなかった者。

<第2部>体操競技の部

1. 参加人数

(1) チーム編成

- ・チーム編成は各大学1チームとし、5～6名（ベスト5）とする。
- ・いかなる場合においてもベスト5を組めない時点で個人扱いとする。

(2) 個人参加

<男子>

- ・支部インカレにおいて本大会へのチーム出場を認められた大学

1部校・・・4名

2部校・・・2名

- ・支部インカレ後に開かれる通過者会議において個人出場を認められた選手

<女子>

- ・予選に個人参加の大学・・・4名まで
- ・チーム出場校 女子1部校・・・4名まで
女子2部校・・・2名まで

(3) 補欠

- ・チーム補欠は2名までとする。
- ・チーム出場の他に個人参加をしている場合には、個人出場者が補欠を兼ねてもよい。
- ・個人参加のみの大学は、補欠を認めない。

(4) 選手変更

- ・チームの選手変更は、5月31日（金）の受付終了時までに書面で提出すること。但し、本会場練習での怪我による選手の変更は、補欠の選手のみ認める。
- ・チーム出場の資格を有する者は、予めID申請を行った5～6名、及び補欠2名の計5～8名であり、その他の選手との変更は認めない。
但し、補欠を兼ねた個人選手は、チーム出場の資格を有する。
- ・チーム出場の大学に与えられた個人選手の変更は、5月31日（金）の受付終了時までに書面にて提出すること。但し、変更する選手は全日本学生体操連盟に選手登録をしている選手に限る。

2. 競技方法

(1) 採点規則及び競技規則

男子・・・2017年版採点規則、最新版内規及び体操競技情報最新号を適用する。

女子・・・2017年版採点規則及び体操競技情報最新号を適用する。

共通項・・・①器具については、男女共に財団法人体操協会認定器具を使用する。

(詳細は部報に記載する)

②0, 000は棄権ではなく、得点として扱う。

④ 跳馬のメジャーは本連盟で準備したものをを使用すること。

④新技申請は5月31日の受付終了時までには受付に提出すること。

それ以後の申請は認めない。

(2) 団体及び個人の開始種目は本連盟において決定する。尚、個人の試技順は繰り上がりに統一する。

(ゼッケンナンバーは本連盟にて決定する)

3. 順位の決定

(1) 団体選手権の部

男女共、各種目のチーム得点(ベスト5)の総合点により決定する。

(2) 個人総合選手権の部

男子6種目、女子4種目の得点の合計により決定する。

(3) 種目別選手権の部

男女共、各種目の得点により決定する。尚、全種目(男子6種目、女子4種目)出場していない者にも権利を与える。

4. 表彰

(1) 団体選手権の部 1位 賞状・メダル・優勝杯

2位～3位 賞状・メダル

4位～6位 賞状

(2) 個人総合選手権の部 1位～3位 賞状・メダル

4位～6位 賞状

(3) 種目別選手権の部 1位～3位 賞状

4位～6位 賞状

5. 審判派遣について

(1) 下記に該当する大学は男女別に審判員を派遣すること。

団体出場する大学・・・2名

2～4名個人出場する大学・・・1名

(2) 審判員を派遣できない大学は1名につき40,000円の依頼費をもって本部に委任すること。

(3) 審判員の資格は2種以上とする。尚、学生は認めない。但し、本部より特別派遣する場合もある。

(4) 審判員と監督を兼任することは出来ない。但し、本部の認めたものはその限りではないが、参加申込締め切り日までに書面をもって本部に連絡し、会長の承認を得ること。

(5) 審判員構成については、その一切を本部に委任すること。

(6) 財団法人日本体操協会委員を派遣する場合はあらかじめ大会本部の承認を得ること。

(7) 大学派遣の審判にかかる費用についてはすべて大学が負担すること。

※審判員が不足することも考えられる為、派遣可能な大学は本部に積極的に申し出てもらうようお願いします。

6. 補助役員について

(1) チーム参加する大学・・・1名

(2) 補助役員を派遣できない大学は10,000円の依頼費をもって本部に依頼すること。

(3) 女子補助役員は、出来る限り審判員資格3種以上を有する者が望ましい。

(4) 補助役員はセッティング・補助役員会議への参加を義務付ける。

<第3部>新体操の部

1. 競技内容及び順位の決定

(1) 団体競技

団体体操選手権

男子・・・徒手

女子・・・ボール(5)、フープ(3)+クラブ(2)

①男女共、1回の試技の得点により順位を決定する。

②女子の順位は2種目の合計得点により決定する。

団体体操選手権は、団体種目別選手権を兼ねて行う。

③男子同点の場合の順位優劣は学連ルールに準ずる。(同点順位について参照)

女子同点の場合の順位優劣は採点規則に準ずる。

(2) 個人競技

個人総合選手権

男子・・・スティック・リング・ロープ・クラブ

女子・・・フープ・ボール・クラブ・リボン

男女共、各種目の合計得点により順位を決定する。

男子同点の場合の順位優劣は学連ルールに準ずる。(同点順位について参照)

女子同点の場合の順位優劣は採点規則に準ずる。

(3) 種目別選手権

男子・・・スティック・リング・ロープ・クラブ

女子・・・フープ・ボール・クラブ・リボン

男女共、各種目の得点により順位を決定する。

男子同点の場合の順位優劣は学連ルールに準ずる。(同点順位について参照)

女子同点の場合の順位優劣は採点規則に準ずる。

2. 参加人数

(1) 団体競技

男子・・・1チーム8名(補欠を含む)

女子・・・1チーム6名(補欠を含む)

男子は各大学、チーム無制限とする。

女子は2チームまでの参加を認める。

(2) 個人競技

男子は1チーム8名(補欠を含む)個人参加は各大学無制限とする。

女子は、1チーム8名までとする。(6名出場の場合は全員かならずどちらかの種目に出場しなければならない)

※ 尚、種目別のみの出場の場合は全日本学生新体操選手権大会の通過は認めない。

(3) 選手変更

参加申し込み提出後、選手変更の必要が生じた場合は、書面にて5月28日(火)までに本部まで連絡す

ること。尚、変更された選手は監督会議にて確認する。

※ 参加者は団体体操選手権・個人総合選手権を兼ねて出場することが出来る。

3. 競技方法

(1) 男子・・・(公財)日本体操協会採点規則2015年番(2018年2月改訂)を採用する。
女子・・・(公財)日本体操協会新体操女子2017年-2020年版、及び新体操ヘルプデスク最新版(2018・2月エラータ)を採用する。

(2) 0,000点は棄権ではなく得点として扱う。

(3) 団体競技においては、1回の試技で行う。

(4) 個人競技においては、1回の試技で個人総合選手権、種目別選手権を兼ねる。

(5) 男女共、すべての演技は音楽伴奏つきでなければならない。

(6) 試技順については以下の通りに行う。

1. 個人総合・男子団体・女子団体1種目目・・・・・・公開抽選とする。

①個人抽選について

選手または大学の代表者によるくじ引きにより決定する。

②団体抽選について

大学の代表者によるくじ引きにより決定する。

女子は1種目目のみ抽選をし、2種目目はその結果により決定する。

③出欠について

出席する大学は事前に配布する参加申込を記入し、本部に提出すること。

出席できない大学は、本部による代理抽選とする。

抽選日について 未定

4. 表彰

(1) 団体選手権の部 1位 賞状・メダル・優勝杯 2位～3位 賞状・メダル

(2) 個人総合選手権の部 1位～3位 賞状・メダル 4位～6位 賞状

(3) 種目別選手権の部 1位～3位 賞状 4位～6位 賞状

(4) 団体種目別選手権の部 1位 賞状

5. 審判員派遣について

(1) 参加選手の人数によって審判員を派遣すること。派遣人数は以下の通りとする。

<男子> 1～2名以上の大学・・・1名以上

3名以上出場の大学・・・2名

<女子>個人1～3名出場の大学・・・1名

個人4名以上または団体のみ出場の大学・・・・・・2名

個人及び団体に出場の大学・・・2名以上

※ 尚、男女共、団体体操選手権と個人総合選手権の派遣審判員は兼ねることができる。

(2) 審判員を派遣できない大学は、1名につき40,000円の依頼費をもって本部に委任すること。

(3) 審判員の資格は2種以上とする。尚、学生は認めない。但し、本部より特別派遣する場合もある。

(4) 全日本学生体操連盟に加盟している学生及びID申請をした者は審判員としての実務を行うことは出来ない。但し、本部依頼の派遣審判員においてはこの限りではない。

(5) 審判員構成については、その一切を本部に委任すること。

- (6) 財団法人日本体操協会、新体操委員会委員及び審判派遣委員会委員を派遣する場合は、あらかじめ本部の許可を得ること。
- (7) 大学派遣の審判にかかる費用については、すべて大学が負担すること。

6. 補助役員について

- (1) 参加大学は1名以上の補助役員を派遣すること。(男女問わない)
- (2) 補助役員を派遣できない大学は3, 000円の依頼費をもって本部に依頼すること。
- (3) 補助役員は、出来る限り審判員資格3種以上を有する者が望ましい。
- (4) 補助役員はセッティング・補助役員会議への参加を義務付ける。

7. 第71回全日本学生新体操選手権大会通過及び出場について

- (1) 本大会に出場しない者は第71回全日本学生新体操選手権大会の出場を認めない。但し、本大会に出場していなくても、全日本学生体操連盟が推薦する選手はこの限りではない。
- (2) 本大会は第71回全日本学生新体操選手権大会の予選を兼ねており、全日本学生体操連盟の基準に基づいて決定する。

1. 団体競技出場規定

- ①男女共、上位8位までのチームが第73回全日本学生新体操選手権大会への通過を認める。
- ②男女共、同一大学における通過チームは、上位1チームまでとする。それ以上のチーム数が団体体操選手権上位8チーム以内に含まれたとしても通過の対象外となる。
よってそのチーム数分他大学の通過順位が繰り上がる。
- ③男子8位同点の場合の順位優劣は学連ルールに順ずる。
(同点順位について参照)。
女子8位同点の場合の順位優劣は採点規則に準ずる。
*通過者会議以降の繰上げ通過は認めない。

2. 個人競技出場規定

- ①男女とも、各個人総合選手権上位25位までの選手が第71回全日本学生新体操選手権大会への通過を認める。
- ②同一大学における通過者は男子上位8位、女子上位6位までとする。それ以上の人数が個人総合選手権上位25名に含まれたとしても通過の対象外とする。
よってその人数分他大学の通過順位が繰り上がる。
- ③尚、男女は全日本インカレへの通過者が25名に達しなかった場合、男子は同一大学内の9位以降女子は同一大学内7位以降の選手の通過を認める。
*この場合、点数の高い順に通過者が25名に達するまで繰り上げるものとする。
- ④男子25位又は同一大学内の8位が同点の場合の順位優劣は学連ルールに準ずる。
(同点順位について参照)。
女子25位同点の場合の順位優劣は採点規則に準ずる。
また、同一大学内の6位が同点の場合は種目別選手権において最高得点を得た選手の通過を認める。
*通過者会議以降の繰上げ通過は認めない。
*推薦基準について(別紙参照)

(3) 参加申し込みについて

- ①所定の用紙に必要事項を記入の上、申し込むこと。
・1次締め切り・・・・・・・・・・ 全日本学生体操連盟のホームページをご確認ください。

- ・ 2次締め切り 全日本学生体操連盟のホームページをご確認ください。

<第4部>共通項

1. 参加料

- (1) 団体体操選手権 (1チームにつき)・・・50,000円
 - (2) 個人総合選手権 (1名につき)・・・12,000円
- ※保険料・医師派遣料を含む。

2. 参加申し込み

- (1) 申し込み方法について、ホームページに掲載されてある「参加申請方法について」をよくお読みください。
- (2) 必要事項を入力、送信したうえで、締め切りまでに必ず指定の口座に振り込むこと。
- (3) 参加する大学は、ダウンロードによる参加申請②,③をするとともに、「参加申込用紙」(参加申請①)を本部まで郵送すること。

受付開始 2019年4月29日 (月)

<申請期限>

参加申請① 締め切り：2019年5月8日 (水) 必着

申請内容 [・参加申込用紙

参加申請② 締め切り：2019年5月8日 (水) 12:00

申請内容 [・参加申込 (参加料確定)
・審判員派遣申込
・広告掲載契約

参加費振り込み 締め切り：2019年5月10日 (金) 12:00

参加申請③ 締め切り：2019年5月15日 (水) 12:00

申請内容 [・団体・個人メンバー表
・補助役員派遣申込
・撮影申請必要枚数
・領収書発行願い
・各出欠席届
・ID 申請
・兼任申請
・大学紹介

- (2) 参加費は本連盟所定の銀行（後ほど記載）へ必ず締め切り期日までに振り込むこと。
銀行振り込み以外は認めない。

※ 必ず大学名と氏名を記入し振り込むこと。

※ 新体操は、大学名の前に「シン」と付け加えること

- (3) 締め切り期間以降の申し込みはいかなる理由があっても認めない。
(4) 原則として締め切り期日以降の欠場は認めるが、大会費（参加料・審判依頼費・補助役員依頼費・広告料等）は一切返却しない。

3. その他

- (1) デッキは各大学で用意すること。
- (2) 競技区域に入れる者は、大会役員・審判員・補助役員・競技者・チームリーダー・コーチ
(体操・・・1チームにつき1名、個人4名以上は2名まで、3名以下は1名
新体操・・・1チームにつき1名、個人は出場選手2名につき1名)
その他器械器具及び会場内の保持に必要な者に限る。
入場する場合には必ずIDをつけること。
部長、監督、主務、補欠のID保持者は練習中の競技区域内及び競技中のフェンス外に入れるものとする。
尚、音楽系のID保持者は、音楽席のみで活動すること。
また、女子の個人選手(3名以下)に限り、段違い平行棒のみコーチを一人追加できる。
- ※ 競技区域：フェンスの内側
- ※ 但し、大会本部の認めたものはこの限りではない。また、ID保持者であってもみだりに競技区域に立ち入ることを禁止する。これに応じない大学は参加を停止する。
- (3) トレーナー申請を希望する大学は、参加申し込みと共に申請書を提出することを要する。
尚、トレーナーは指定の場所のみで活動するものとする。
- ※ トレーナーの申請人数は男女共、各1名の計2名までとする。
- ※ メンタルトレーナーもこのトレーナーと同様の扱いとする。
- (4) 審判員、競技役員は競技中いかなる理由をもってしても本部の許可なしに、演技の指導、競技への参加、その他の任務を受諾することは出来ない。
- (5) 器具及び会場設備の破損の場合には、参加者全員を持ってその弁済にあたる。
- (6) プラカードは各大学で用意すること。
- (7) ゼッケンに関しては、大会本部が用意する。
- (8) 体育館内を使用する場合は清潔を保つように心がけ、大会日程中に出たごみは各大学で必ず責任をもって処理をすること。
- (9) 撮影については、申請をした者に限り許可する。
- (10) 以上の記載事項が完全に守れない場合には出場停止、又はその他の処置をとる。

大会申し込み先

〒470-0393

愛知県豊田市貝津町床立101

中京大学体操競技部内宛名 西日本学生体操連盟

振り込み先

未 定

(確定版掲載までには提示いたします。)

- ※ 個人名ではなく、大学名で振り込むこと。
- ※ 新体操は大学の前に (シン) と付け加えること。

問い合わせ

西日本学生体操連盟

西日本学生体操連盟 (代表) 仲尾 星彦

TEL 090-4193-4470

FAX (0565)-46-1289

平日 16:30~20:00

土曜日 13:00~17:00 (日祝日は除く)

同点順位について

<体操競技の部>

①表彰について

団体選手権 個人総合選手権 種目別選手権	同点は同順位として表彰する。
----------------------------	----------------

②通過に関する順位付けについて

団体選手権	<ul style="list-style-type: none">・ 全種目（男子6種目、女子4種目）のチーム得点の中で、最低点の種目得点を除いた残りの種目（男子5種目、女子3種目）の得点の合計が高いチーム。・ それでも同点の場合は2種目の最低得点を除く残りの合計の高いチーム。（さらに同点の際は、男子5種目、女子3種目まで最低点を除き、残りの種目の合計の高いチーム）・ 最低種目得点の男子5種目、女子3種目を除いても尚同点の場合は、同順位とする。
個人総合選手権	<ul style="list-style-type: none">・ 団体と同じ方法を用いて、残りの種目合計の高い者。
種目別選手権	<ul style="list-style-type: none">・ その大会における個人総合順位の高い者。

※この方法は、学生連盟が主催とする大会のみ適用とする。

<新体操の部>

1、表彰について

(1) 団体選手権、個人総合選手権、種目別選手権ともに同点は同順位として表彰する。

2、通過に関する同点順位の順位優劣について

※下記の条件に当てはまるものを上位とする。

(1) 個人総合選手権

- ①個人4種目のうち1種目高得点を出した競技者。
- ②上記①において同点の場合、2種目目→3種目目→4種目目と順に高得点を得た競技者。
- ③上記②において同点の場合、抽選とする。

(2) 個人種目別選手権

- ①採点審判全員の点数を足した点数が高い競技者。
- ②上記①において同点の場合、主審の点数が高い競技者。
- ③上記②において同点の場合、1審→2審→3審・・・と順に高得点を得た競技者。
- ④上記③において同点の場合、抽選とする。

(3) 団体体操選手権（徒手、手具）

- ①採点審判員全員の点数を足した点数が高いチーム。
- ②上記①において同点の場合、構成の点数が高いチーム。
- ③上記②において同点の場合、構成主審の点数が高いチーム。
- ④上記③において同点の場合、構成1審→2審→3審・・・と順に高得点を得たチーム。
- ⑤上記④において同点の場合、抽選とする。

*この順位決定方法は、学連が主催する大会のみ適用されるものとする。

推薦基準 新体操女子

西日本インカレ（全日本インカレ予選）に出場しない選手が、全日本インカレ出場する際の「推薦基準について」

下記事由により参加できなかった場合、該当選手はその理由を証明する書類を添えて申請する。出場可否の判断は学連に委ねる。

1、選手の資格

- ①日本体操協会において認められたナショナル選手
- ②前年度の全日本選手権大会において個人総合 8 位以上の成績を修めている選手
- ③その他、上記①②と同等の評価がされる選手
- ④天災、法定伝染病などの理由により、西日本インカレに出場できなかった選手

2、西日本インカレ出場不可の理由

- ①ナショナル選手として日本体操協会より派遣された競技会の期日と、西日本インカレの期日と重複
- ②怪我などの故障
- ③天災の影響
- ④法定伝染病などの理由により、所属大学より競技会参加の許可が下りなかった場合

3、参加枠の取り扱い

- ①上記 2 の①の場合は該当の選手の出場を認める。
- ②必ず東西日本インカレに参加登録をし、上記 2 の②③④の理由により棄権した場合
大学に与えられた人数枠内（原則として 6 名）で、該当の選手の出場を認める。

<男子>

- 1、予選を通過した選手のみ全日本インカレに出場できる。